

都市計画マスタープラン見直しに向けて



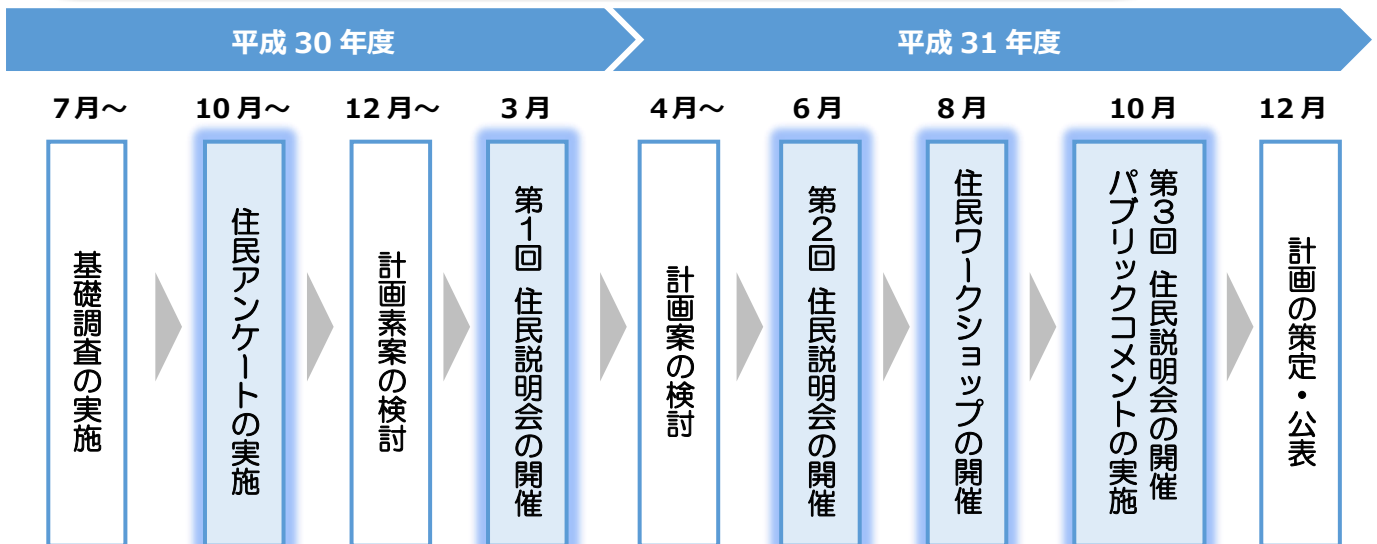
<問合せ先> 芝山町まちづくり課都市計画係 tel 77-3909

芝山町では 平成 30~31 年度の 2 カ年をかけて 都市計画マスタープランの見直しを実施 します。

今年度から 2 カ年をかけて都市計画マスタープランの見直しに取り組みます。見直しにあたっては、住民の皆さまのまちづくりに対するご意見を頂く場として、住民アンケートや住民説明会・ワークショップ、パブリックコメント(意見募集)などを行う予定ですので、より良いまちづくりの実現に向けて、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。



しほっくん



※関係機関等との協議・調整の関係で前後する場合があります。

【芝山町都市計画マスタープラン見直しの背景】

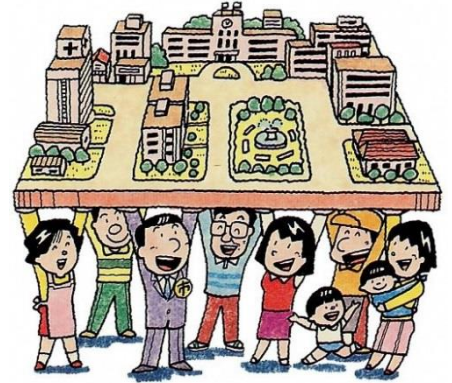
- ☑ 芝山町では、平成 13 年 5 月に「芝山町都市計画マスタープラン」を策定し計画に基づいたまちづくり施策を展開してきました。
- ☑ しかしながら、計画策定から 17 年が経過し、人口減少・少子高齢化や圏央道等の広域道路網整備の進展、それらに関連した県・町の上位計画の改定など、町の都市計画を取り巻く環境は大きく変化していることから、これらに対応した新たな都市計画マスタープランへと見直しが求められています。
- ☑ 特に、芝山町では北部エリアにおいて成田国際空港の拡張が予定されており、町の都市構造に大きな影響が及ぶことが予想されます。そのため、住民の皆さまのご意見・ご意向を伺いながら、拡張に伴う移転対象者用の新規宅地の整備や、町の活力創出に資する新たな拠点・道路網の整備などに係る方針を、新たに都市計画マスタープランに位置付けていく必要があります。
- ☑ 新たな都市計画マスタープランは、今後、国、県、NAA 等とまちづくりに係る調整等を行う際に、芝山町が目指すまちづくりの方針として示していくこととなります。



都市計画とは、まちづくりのための計画 です。

芝山町に住んでいる人、働いている人、訪れる人たち、誰にとっても、安全・安心・快適な場所となるように、まちづくりのルールや計画を定めて、実現していくことを「都市計画」といいます。

- ☑ 都市には、多くの人が集まって働き、学び、生活をしています。もし、みんなが自分勝手に土地を使ったり、建物を建ててしまうと、住宅地の中に高いビルや大きな音の出る工場が建ってしまい、日当たりが悪くなったり、騒音に悩まされるなど、様々な問題を引き起こす恐れがあります。
- ☑ 誰もが気持ちよく暮らしていくためには、土地の使い方や建物の建て方にルールが必要です。また、都市で生活し、働いていく上では、道路や公園など、まちの骨組みとなる公共施設も欠かせませんし、田畑や河川、平地林などの自然環境を残して、魅力と安らぎのある環境をつくっていくことも重要です。
- ☑ このようにまちづくりのルールや計画を定めて、実現していくことを「都市計画」といいます。



都市計画は、次のような流れで進められます。

【まちづくりの構想・計画】

- 住民の皆さんの意見を聴きながら、まちの将来像や、それを実現するためのまちづくりの方針などを定めた計画を作成します。(都市計画マスタープラン等)

今回見直し

【都市計画の決定】

- まちづくりの構想・計画で定めた方針に基づいて、住民の皆さんとの合意を図ったうえで、土地利用や建物の用途・大きさなどを制限するまちづくりのルール(用途地域)や、道路・公園の整備計画などを、都市計画として決定します。
- 都市計画として決定された事項は、正式に法的効力が発生します。決められたルールに違反した場合は罰則を受けることとなります。

住民や事業者、行政など、芝山町で生活する人達が、協力しながら、都市計画決定したルールや整備計画に基づいてまちづくりを進めていくことで、芝山町が目指すまちづくりの実現に近づいていきます。



都市計画マスタープランは 概ね 20 年後の未来を見据えて 芝山町が目指すまちの姿や方針を定める計画 です。

人口減少・少子高齢化の進行や成田国際空港の拡張など、芝山町を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、町の課題解消や新たな活力創出を実現していくための基本計画となるよう、皆さまのご協力を頂きながら、現行計画の見直しに取り組んで参ります。